

SHISEIDO

# 資生堂のTNFD開示の 取り組み

2025/1/19

株式会社資生堂

サステナビリティ戦略推進部

大橋 憲司



# 自己紹介

## 経歴

- 1998年 名古屋大学 農学部卒業  
2000年 名古屋大学大学院 生命農学研究科修了  
→分子生物学、微生物学、生化学  
細菌の転写因子のリン酸転移を介した細胞内情報伝達
- 同年 株式会社資生堂に入社
- 2000年 化粧品の処方開発  
2006年 化粧品のパッケージ開発  
2008年 環境素材の探索、環境負荷算定手法の開発  
2013年 本社（CSR部→→→サステナビリティ戦略推進部）  
2019年 上智大学理工学部 非常勤講師「環境問題と科学技術」を担当





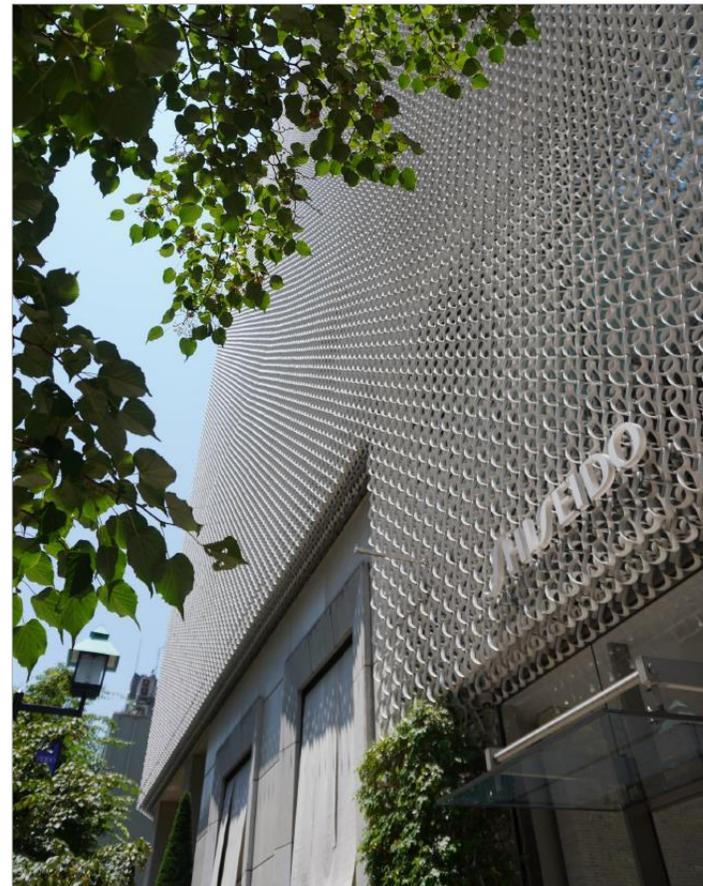
**OUR MISSION is  
BEAUTY INNOVATIONS FOR A BETTER WORLD**

# サステナビリティレポート (左) 気候/自然関連財務情報開示レポート (右)



SHISEIDO

SUSTAINABILITY  
REPORT  
2023



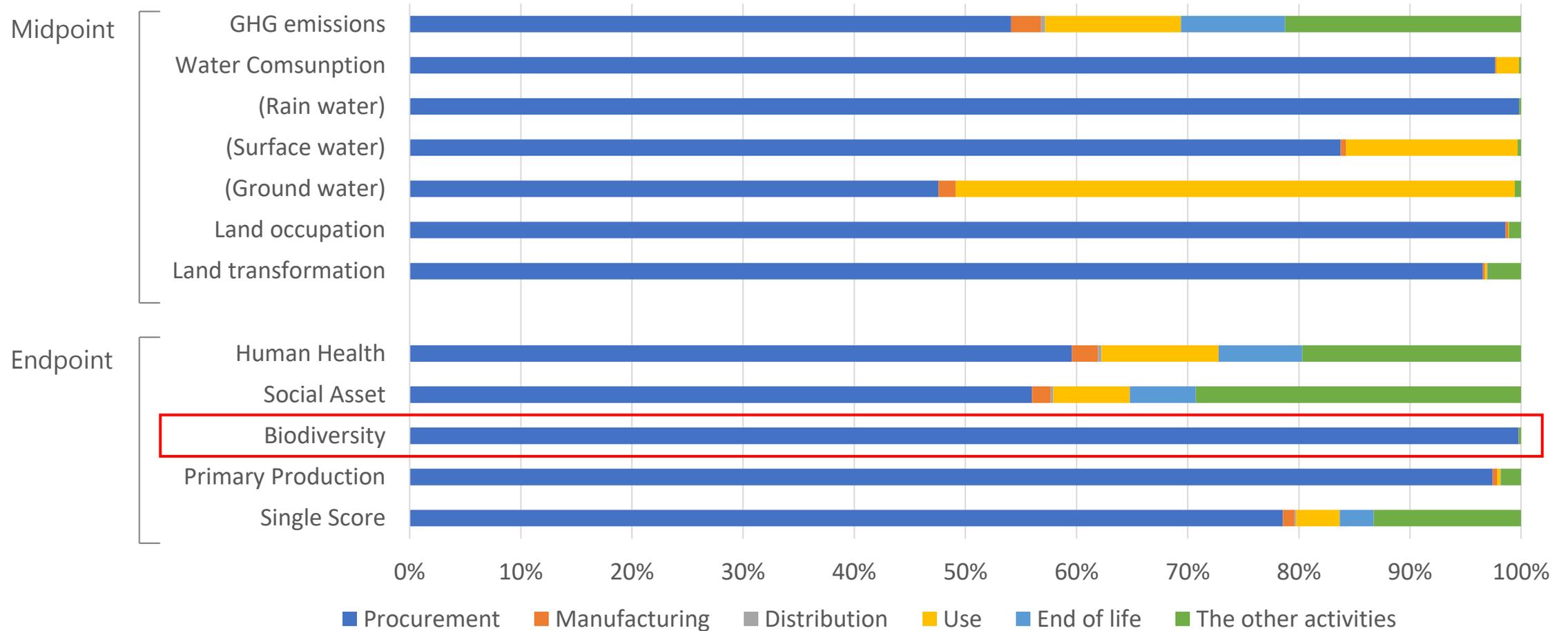
Shiseido Climate/Nature-Related Financial Disclosure Report  
June 28, 2024





# TCFD・TNFD情報開示に 取り組むのは何のため？

# LCA (LIME3) によるバリューチェーン評価



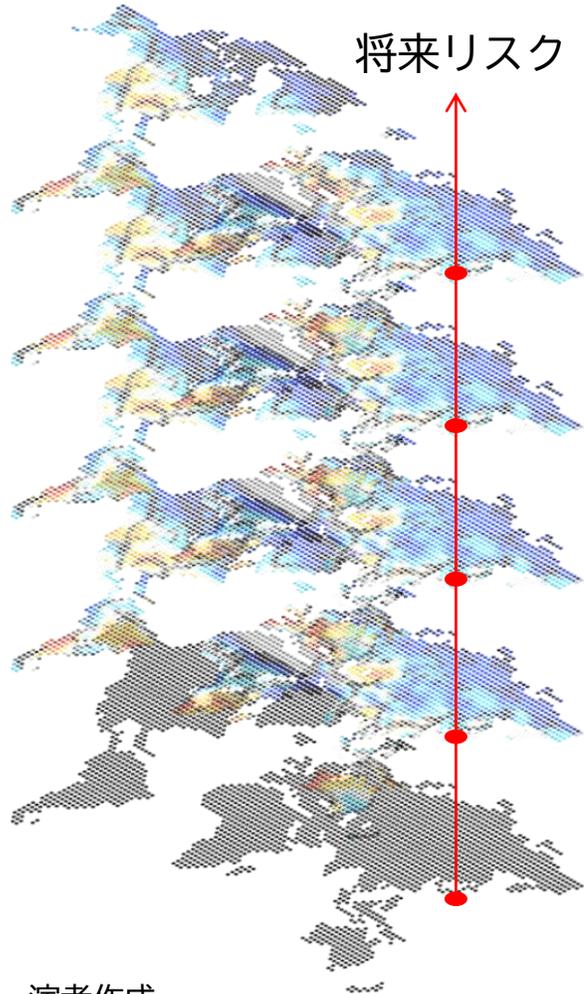
資生堂 気候・自然関連財務情報開示レポート2024より

# LEAPアプローチの適用

	自社サイト	バリューチェーン
<b>Locate</b> 自然との接点	自社サイトの情報収集（位置、資源利用など）	バリューチェーン情報収集（原料調達など）
	フットプリントの特定：LIME3による組織のLCA分析 Midpoint：気候変動、水資源消費、土地利用、土地転換、資源利用、廃棄物など Endpoint：人間健康、社会資産、生物多様性（種の絶滅リスク）、植物一次生産	
<b>Evaluate</b> 依存と影響	周辺生態系の重要性・十全性、水ストレスの評価	調達原料の素材作物・栽培地域ごとの土地利用、土地転換、水資源消費量の推計
	リスク／機会要因の特定 インパクトドライバーと要因間の関係性を整理 重要リスクのモデル化（定量評価）	（移行） 評判、税制、規制、地政学 （物理） 極端現象、渇水、水質悪化、調達コストなど
<b>Assess</b> リスクと機会		
<b>Prepare</b> 対応と開示	自社サイト内での生物モニタリング ミツバチの保護 地域ステークホルダーと連携した水環境調査	パーム関連原料、紙の認証化 原料トレーサビリティ調査 サプライヤーアセスメントプログラム

# リスク／機会要因の特定と定量分析

L		
E		
A		
P		



将来リスク

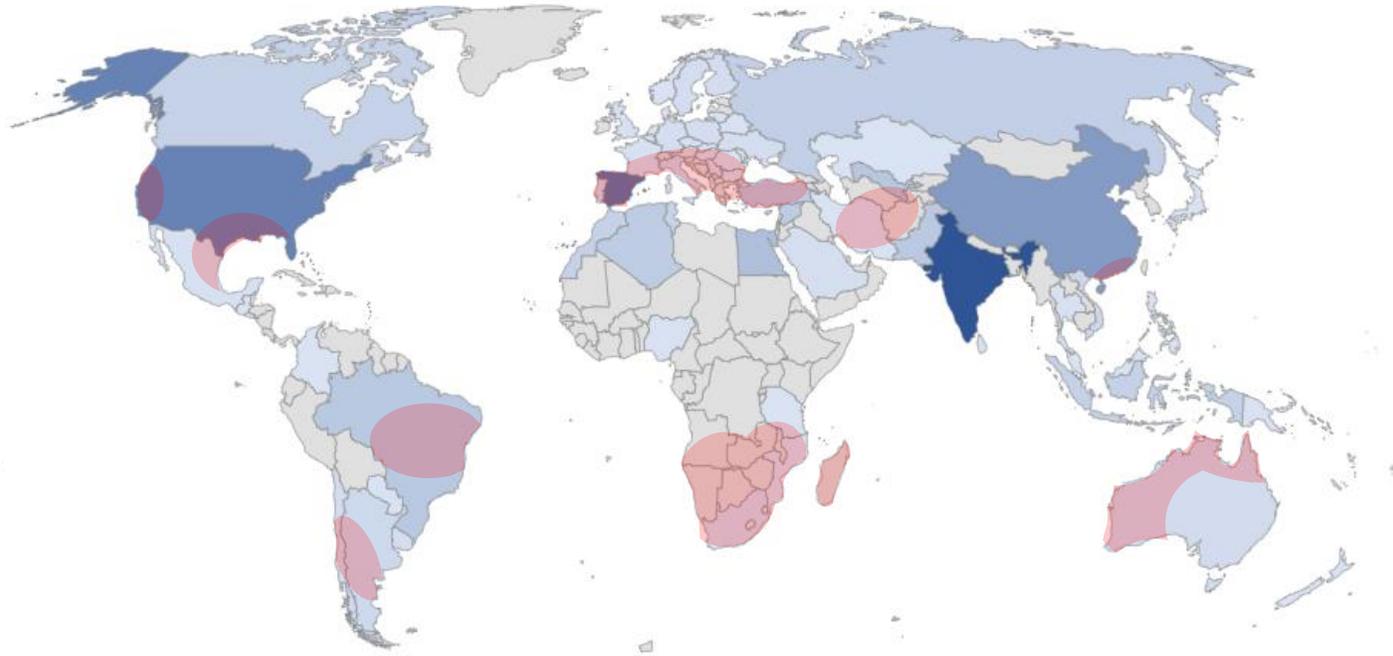
人口変化による将来の水資源の競合状態の変化

雨量変化予測による将来の利用可能性

現在の水資源の利用可能性

地理情報  
(国／地域、河川水系)

現在の水資源の使用状況  
(地点、水量、水源)



演者作成

# 自社サイト周辺生態系の重要性・十全性、水ストレス、土地占有の評価

L		
E		
A		
P		

事業所名	国/地域	センシティブロケーション				マテリアルロケーション		
		生態系の重要性		生態系の十全性		水資源	土地占有	
		地理的要因	希少種	自然度	生物種			
資生堂 掛川工場	日本	黄	橙	黄	緑	緑	黄	
資生堂 大阪工場	日本	黄	緑	黄	緑	緑	黄	
資生堂 大阪茨木工場	日本	黄	緑	橙	緑	緑	黄	
資生堂 那須工場	日本	黄	橙	黄	緑	※	黄	
資生堂 福岡久留米工場	日本	黄	緑	橙	黄	緑	黄	
資生堂化粧品制造有限公司	中国	黄	橙	橙	黄	緑	黄	
資生堂麗源化粧品有限公司	中国	黄	緑	橙	黄	赤	緑	
台湾資生堂 新竹工場	台湾	黄	緑	赤	黄	緑	緑	
資生堂アメリカ イーストウィンザー工場	アメリカ合衆国	黄	橙	黄	黄	緑	黄	
バル・ド・ロワール工場	フランス	黄	緑	橙	黄	緑	黄	
ジアン工場	フランス	黄	橙	黄	黄	緑	黄	

資生堂 気候・自然関連財務情報開レポート2024より

シンク・ネイチャー社ハビタットデータ、World Database on Protected Area、Key Biodiversity Area、Tim Newbold et al. (2016) Science vol. 353, No. 6296 3、Haowei Mu et al. (2022) Scientific Data 9 (1), 176、IUCN レッドデータブック、環境省レッドリストなどに基づく分析 (MS&AD インターリスク総研のサポートによる)

# 地域ステークホルダーと協働した水環境調査

L		
E		
A		
P		



複合扇状地に立地する資生堂那須工場



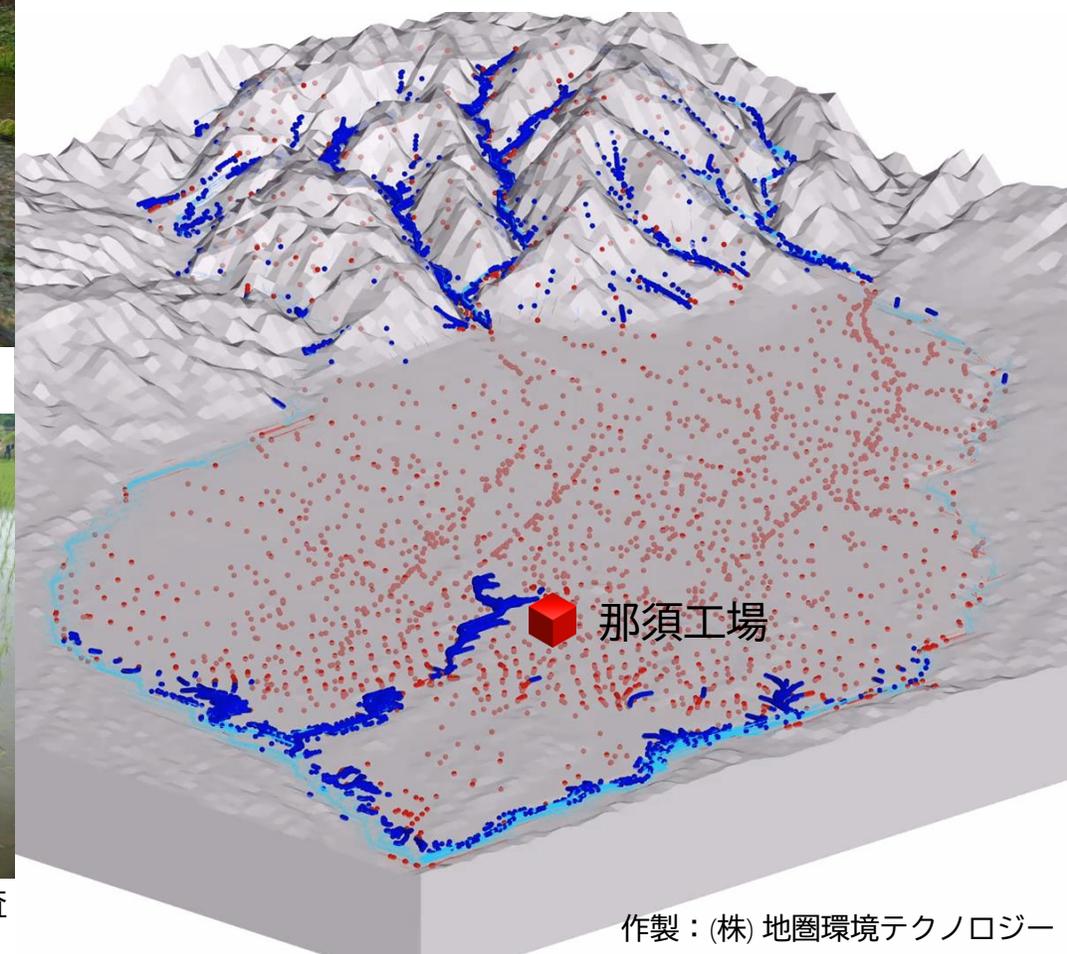
工場周辺の湧水地



専門家や地域ステークホルダーとのダイアログ



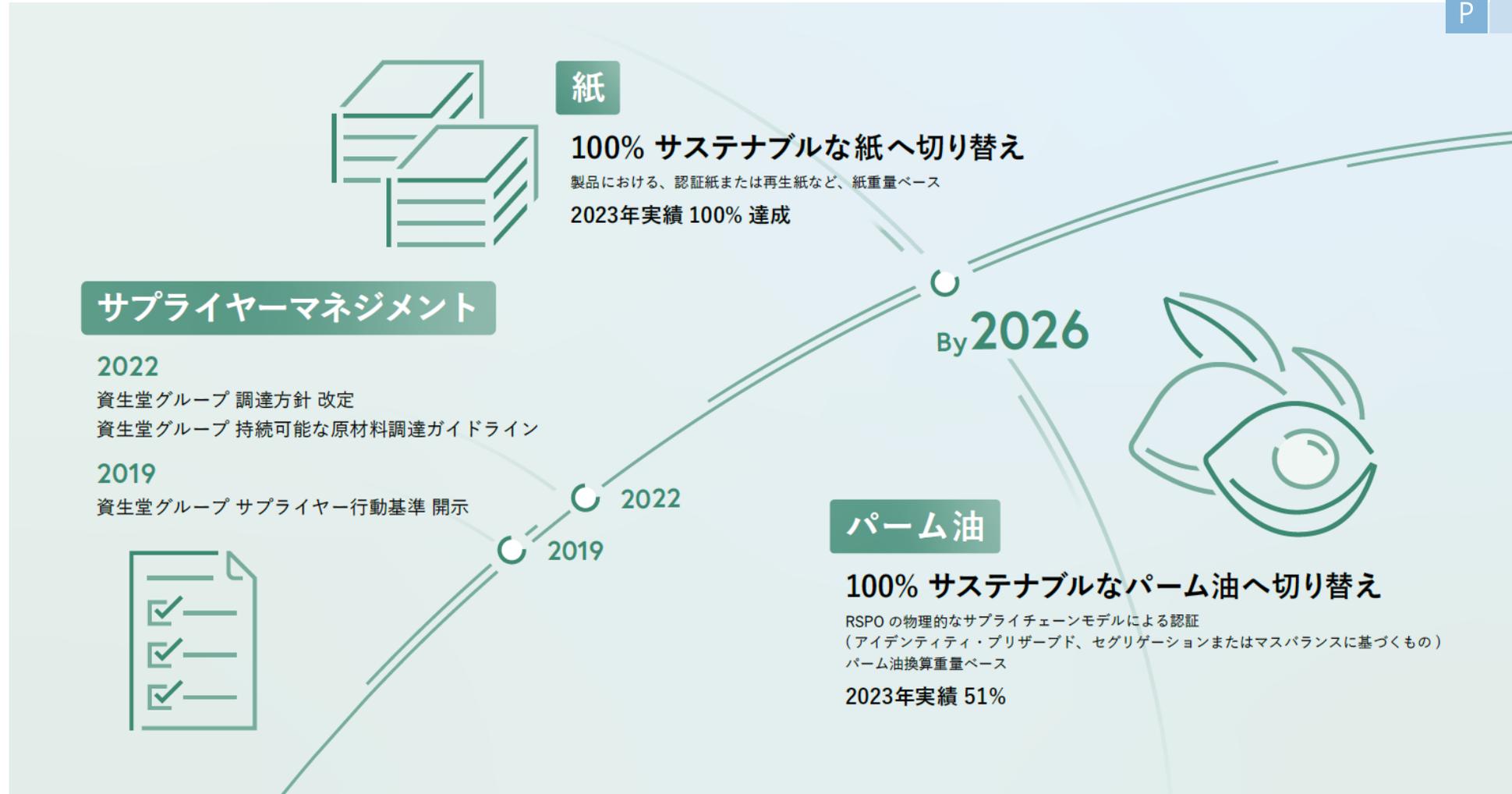
排水流路や地下浸透量を地元高校生と共同調査



作製：(株) 地圏環境テクノロジー

# 認証原料への切り替え

L	
E	
A	
P	



資生堂サステナビリティレポート2023より

# 今後の課題

- シナリオ分析（未来予測）の経営戦略・企業のトランスフォーメーションへの活用
- サプライチェーン上流の地理情報の追跡（Locateの精緻化）
- 戦略アクションによる生態系影響の回避・削減効果の見える化
- 評価できていない領域（先住民など）の評価

(例) 素材作物生産地を考慮したLIME3による  
パーム油由来原料の生物多様性インパクト

通常のパーム油原料



RSPO認証原料



SHISEIDO